

みずほCustomer Desk Report 2021/11/01 号(As of 2021/10/29)

市場營業部 為替營業第二子一ム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	113.62	1.1682	132.74	1.3799	0.7532
SYD-NY High	114.09	1.1690	132.89	1.3803	0.7555
SYD-NY Low	113.40	1.1535	131.61	1.3669	0.7501
NY 5:00 PM	114.03	1.1562	131.80	1.3685	0.7521
NY DOW	35,819.56	89.08	日本2年債	-0.1000	0.00bp
NASDAQ	15,498.39	50.27	日本10年債	0.0900	0.00bp
S&P	4,605.38	8.96	米国2年債	0.4990	1.19bp
日経平均	28,892.69	72.60	米国5年債	1.1840	0.17bp
TOPIX	2,001.18	1.52	米国10年債	1.5592	▲1.73bp
シカゴ日経先物	29,005.00	80.00	独10年債	-0.0960	5.50bp
ロンドンFT	7,237.57	▲ 11.90	英10年債	1.0300	2.55bp
DAX	15,688.77	▲ 7.56	豪10年債	1.9950	13.60bp
ハンセン指数	25,377.24	▲ 178.49	USDJPY 1M Vol	6.36	0.04%
上海総合	3,547.34	28.92	USDJPY 3M Vol	6.50	▲0.00%
NY金	1,783.90	▲ 18.70	USDJPY 6M Vol	6.65	0.11%
WTI	83.57	0.76	USDJPY 1M 25RR	-0.14	Yen Call Over
CRB指数	237.696	▲0.78	EURJPY 3M Vol	6.65	0.11%
ドルインデックス	94.12	0.78	EURJPY 6M Vol	7.25	0.15%

東京	東京時間のドル円は113.62レベルでオープン。月末ということもあり仲値にかけては買いが優勢も仲値付近が東京時間の高値。前日にECBや米GDP速報値も終え、次週にはFOMCという中で様子見ムード。113.71-113.40のレンジ推移となり113.54レベルで海外時間入り。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は113.54レベルでオープンし、週末前のポジション調整のドル買いで上昇。東京時間で約2週間ぶりの安値を付けた後はドル買い・円安に一転し、ロンドン時間も同じ基調が継続。じりじりと上値を切り上げ、日中高値の113.87レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場で本邦輸出企業の月末のドル売りに、ドル円は一旦113.40まで下落するが、その後は月末絡みのドル売りが終わったとの見方や、週末を控えた調整からドルが買い戻される展開に値を戻し、113.87レベルでNYオープン。朝方は米第3四半期雇用コストが予想以上に上昇したが、9月個人所得が予想以上に低下したことや、9月PCEコアデフレ率(前年比)が予想をやや下回ったこともあり下押しする。その後は10月シカン大学消費者信頼感指数(確報値)が予想を上回ったものの、この結果を受けたドル円の反応は限定的となる。その後一旦円がやや買われる局面もあったが、米金利は低下する一方ドル買いが継続し、114.09まで上昇する。午後は新規材料に欠ける中、週末を控え狭いレンジでの推移が続く114.03レベルでクロスした。一方、ユーロドルはドル買い戻しが優勢となったことから海外市場ではじり安の展開が続く、1.1647レベルでNYオープン。朝方は海外市場の流れを引き継ぎじり安で推移するが、前日のECB前のレベルまで下落するとストップを次々と巻き込み、1.1535まで下落する。午後は週末を控え調整中心の値動きとなり、1.1562レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなすようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当：山岸・上遠野

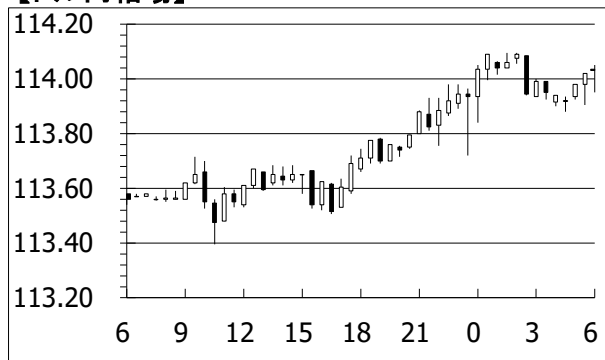
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月29日	08:30	日 東京CPI/コアCPI/コアコアCPI	10月 0.1%/0.1%/−0.4%	0.4%/0.3%/0.0%
	08:30	日 失業率	9月 2.8%	2.8%
	08:50	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・速報	9月 −5.4%/−2.3%	−2.7%/0.2%
	18:00	欧 CPI(前月比/前年比)・速報	10月 0.8%/4.1%	0.5%/3.7%
	18:00	欧 コアCPI・速報	10月 2.1%	1.9%
	18:00	欧 GDP(前期比/前年比)	3Q A 2.2%/3.7%	2.1%/3.5%
	21:30	米 個人所得/個人支出	9月 −1%/0.6%	−0.3%/0.6%
	21:30	米 PCEコアデフレ率(前月比/前年比)	9月 0.2%/3.6%	0.2%/3.7%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	10月 71.7	71.4
10月31日	10:00	中 非製造業PMI	10月 52.4	53
	10:00	中 製造業PMI	10月 49.2	49.7

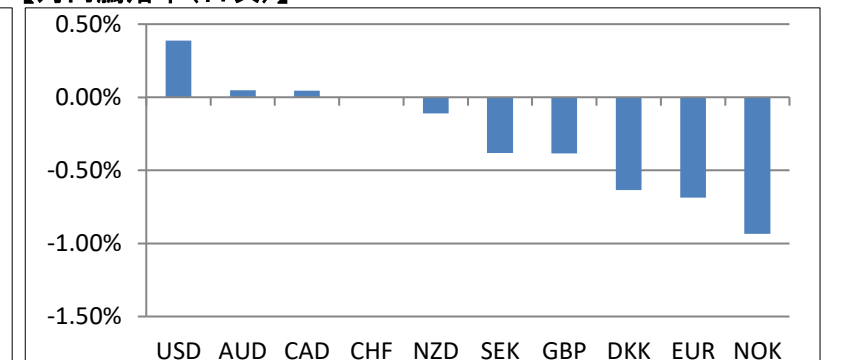
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月1日	22:45	米 マークイット製造業PMI・確報	10月 59.2	59.2
	23:00	米 建設支出(前月比)	9月 0.4%	0.0%
	23:00	米 ISM製造業景況指数	10月 60.5	61.1

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	113.70－114.60	1.1520－1.1620	131.50－132.60

【マーケット・インプレッション】

先週金曜日のドル円はドル買い優勢の展開。月末のドル需要がサポート材料となったほか、週末のドル買い戻しの動きを受けて、114円台を回復し、114.09でクローズ。また昨日投開票された衆議院議員は、自民党が単独過半数を上回る結果となり、週明けの市場は前週末クローズレベルよりも、若干円安ドル高の水準で推移している。本日のドル円も、引き続き堅調な推移を予想。衆院選の自民党勝利による不透明感の払拭が、円売りドル買い材料となりそう。また今週は豪・米・英の各国で中央銀行政策会合が予定されている。各国とも金融正常化・利上げ期待が高まっており、現状の緩和政策を続ける日本との対比から円が売られやすい展開か。本日経済指標は、米10月ISM製造業景況指数の発表が予定されている。